

日本の全要素生産性(TFP)上昇率

- 2018年の全要素生産性上昇率は-0.8%
(前年比)。
- 日本の全要素生産性上昇率は、2000年代前半になって改善。2000年代後半にはリーマン・ショックの影響などで再び落ち込んだ。
- その後、2010年代前半は+1.3%(年平均)と、2000年代前半とほぼ同じ水準まで回復したが、2010年代後半に再び落ち込んでおり、やや循環的に推移している。

